

岩沼海岸植樹祭 2013.06.30

岩沼海岸植樹式のご案内

～植樹ボランティア参加者募集～

国土交通省では、仙台湾南部海岸の津波や高潮による被害を軽減するため、海岸堤防の復旧を進めています。その際、自然環境や景観に配慮することが重要であり、国土交通省では、今回、横浜国立大学名誉教授の宮脇先生が提唱されている「いのちを守る森の防潮堤」の考え方を取り入れ、復旧する堤防の陸側に緑の基盤となる盛土を行いました。

この度、5つの関係機関・団体が主体となり、広く国民の方々の積極的な参加をいただき、この盛土部分に植樹を行って森づくりを行い、これにより「緑の防潮堤」を整備することとしました。どなたでも参加できますのでふるってご応募ください。(参加費は無料です)

日時

平成 25 年 6 月 30 日(日) 14:00～16:00 (雨天決行・荒天中止)

場所

岩沼市下野郷宇浜地内
海岸堤防の上に敷きならした土へ植樹していただきます
会場及び駐車場は別紙を参照願います。市役所発着のシャトルバス(13時発～)もあります。

当日のスケジュール (時間は予定)

13:00 開場・受付開始
14:00～ 植樹式(主催者代表挨拶・植樹指導など)
14:45～ 植樹
16:00 閉式

申し込み方法

仙台湾川国道事務所ホームページの専用ページ
(HPのバナーまたは <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/syokujyu/> の「意見・要望アンケート」から6月24日までにお申込みください。

持ち物

植樹作業に適した服装、長靴、軍手、タオル、雨具など

問合せ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台湾川国道事務所
電話：022-248-4131 海岸課 小川・日野口(内線 523・322)

実施団体等

主催：国土交通省東北地方整備局・宮城県・岩沼市・(公財)瓦礫を活かす森の長城プロジェクト・「いのちを守る森の防潮堤」推進東北協議会
後援：復興庁宮城復興局・林野庁東北森林管理局
協力：NPO 国際ふるさとの森づくり協会



岩沼海岸植樹式 【会場・駐車場案内図】

<広域図>



<詳細図>



深松組から8名が植樹ボランティアとして参加致しました。





Prudential

ブルデンシャル生命保険株式会社
仙台支社 ライフプランナー 小島 優
仙台市青葉区中央3-2-1 青葉通プラザ9F
TEL.022-262-7288

2013
7月2日
火曜日

建

東北整備局ほか

森の防潮堤スタート

仙台湾南部海岸で植樹式

仙台湾南部海岸の復旧防潮堤に広葉樹を植栽する「緑の防潮堤植樹式」が6月30日、宮城県岩沼市下野郷地区で行われた。横濱国立大学の宮脇昭名教授が提唱する「いのちを守る森の防潮堤」の考え方を示した。初回の取り組み、宮脇教授の指導の下、太田昭宏国土交通相や民間ボランティアなど約700人が約7,000本の苗を植



植樹場所は東北地方整備局が直轄代行として整備している仙台湾南部海岸防潮堤約30キロメートルのうち、仙台空港や下水道施設などの重要施設を保護するために先行的に整備し、11月中旬までに完成した約10キロメートルの一部。防潮堤の防潮側面に海岸工事や河川工事から発生した残土を約100キロメートル以上に盛り、高さを約1メートルとし、植栽の基礎を整えた。シイタケ、タブ、カンナなど15種類の広葉樹を植えるのに合わせて、植



太田国土交通相

り強い構想となることも、環境に配慮した防潮堤に仕上がる。苗木は全て森の長崎プロジェクトが寄付した。東北地方整備局、宮城県、岩沼市、「瓦礫を活かす森の長崎プロジェクト」の「いのちを守る森の防潮堤推進東北植樹隊」の主催による植樹式で、太田大臣は「きょう森の防潮堤がスタートした。岩沼の例をモデルに多くの人に知ってもらい、地域ごとに取り組み、広がっていくことを期待を示した。三浦秀一副知事は「海岸防潮と緑の防潮堤の両方を実現したい」と述べ、地元関係者に「緑の防潮堤の復旧に協力してほしい」と呼びかけ、井口岩沼市長は「これからの岩沼

【仙台支社】 仙台市青葉区上杉1-6-10
仙台北辰ビル
TEL.022-221-9211

宮城 日刊建
The Nikkan K

東日本大震災で被災した沿岸部で、緑の防潮堤の整備を計画している東北地方整備局は先月30日、岩沼海岸で植樹式を開いた。ボランティアなど県内外から約700人が参加し、本復旧した海岸堤の背後で盛土を施した場所に、タブ、キナなど約700本を植樹式典に参加した太田昭宏国土交通相は、岩沼海岸を皮切りに「緑の防潮堤」を被災地全体で推進していく考えを示した。植樹式は、国土交通省東北地方整備局、宮城県岩沼市、瓦礫を活かす森の長崎プロジェクトの「いのちを守る森の防潮堤」推進東北協議会が主催、横浜国立大学名誉教授の



三浦副知事

東北整備局 岩沼海岸で700人7000本植樹



大田国土交通相が植樹に加じた



井口市長

「緑の防潮堤」が始動

本復旧した防潮堤の側面に最大2.6メートルの厚の盛土を施し、植生帯を造成した。盛土材の一部は、仙台湾南部海岸の堤防復旧区間5キロメートルのうちの約1キロメートルが、宮脇昭名教授が提唱する「いのちを守る森の防潮堤」の考えを取り入れ、緑区の延長100キロメートルの防潮堤を整備する計画の第1号となる。今回植樹の対象となるのは、仙台湾南部海岸の堤防復旧区間5キロメートルのうちの約1キロメートルが、宮脇昭名教授が提唱する「いのちを守る森の防潮堤」の考えを取り入れ、緑区の延長100キロメートルの防潮堤を整備する計画の第1号となる。今回植樹の対象となるのは、仙台湾南部海岸の堤防復旧区間5キロメートルのうちの約1キロメートルが、宮脇昭名教授が提唱する「いのちを守る森の防潮堤」の考えを取り入れ、緑区の延長100キロメートルの防潮堤を整備する計画の第1号となる。

太田国交相 「緑の防災の出発点に」



植樹推進する菅原氏

「緑の防潮堤」の出発点に。太田国交相は、岩沼海岸を皮切りに「緑の防潮堤」を整備する計画の第1号となる。今回植樹の対象となるのは、仙台湾南部海岸の堤防復旧区間5キロメートルのうちの約1キロメートルが、宮脇昭名教授が提唱する「いのちを守る森の防潮堤」の考えを取り入れ、緑区の延長100キロメートルの防潮堤を整備する計画の第1号となる。今回植樹の対象となるのは、仙台湾南部海岸の堤防復旧区間5キロメートルのうちの約1キロメートルが、宮脇昭名教授が提唱する「いのちを守る森の防潮堤」の考えを取り入れ、緑区の延長100キロメートルの防潮堤を整備する計画の第1号となる。

東日本大震災復興特別版

「いのちを守る森の防潮堤」の考え方を示した。初回の取り組み、宮脇教授の指導の下、太田昭宏国土交通相や民間ボランティアなど約700人が約7,000本の苗を植

